signia

Life sounds brilliant.

Ace primax 取扱説明書

医療機器のクラス：管理医療機器
一 般 的 名 称：耳かけ型補聴器
販 売 名：補聴器 primaxシリーズ
形 式：Ace primax

Hearing Systems

SIEMENS

**2017年11月(第3版)「新記載要領に基づく改訂」 医療機器認証番号:第228ABBZX00041000号
**2016年05月(第2版)

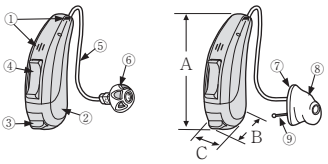
機械器具73 補聴器
管理医療機器 耳かけ型補聴器(JMDNコード:34671000)/
耳鳴マスカ(JMDNコード:30899000)
販売名:補聴器 primaxシリーズ(形式:Ace primax)

【禁忌・禁止】

<併用医療機器>
「相互作用の項参照」
MRI 検査をおこなう場合は、補聴器を検査室に持ち込まないでください。[誘導起電力による局部的な発熱で火傷のおそれがあります。また、磁気により本製品が MRI 装置に吸着されたり、故障する可能性があります。]

【形状・構造及び原理等】

a. 構成 本体 外観図



① 音の入口 ② ケース ③ 電池室
④ ロッカースイッチ ⑤ ミニレシーバ ⑥ ドーム
⑦ フェースプレート ⑧ シェル ⑨ コード

形 式	寸 法 (mm)			重量(g)
	A	B	C	
Ace primax	21.0	8.0	7.0	0.8

許容公差±1.0mm、±1.0g

リモコン
miniPocket

リモコン	寸 法 (mm)			重量(g)
	A	B	C	
miniPocket	57.5	34.0	12.8	15.0

許容公差±1.0mm、±1.0g

b. 直接体に接触する部分の組成

・ケース	ABS樹脂
・電池室	ABS樹脂
・プッシュボタン	ABS樹脂
・ミニレシーバ	ポリアミド樹脂
・ドーム	シリコン樹脂
・フェースプレート	セルロースアセテートプロピオネート
・シェル	アクリル樹脂
・コード	ナイロン

c. 使用空気電池

PR536 1.4V 1 個
電池寿命 約 80 時間
(電池寿命は、使用条件によって異なります)

d. 原理

補聴器機能時は、音を増幅して耳に伝える。
耳鳴マスカ機能時は、ノイズ音を発生させ耳に伝える

【使用目的又は効果】

本器は、耳に装着して補聴器が音を増幅して難聴者が聞くことを可能とするものであり、ノイズ音を発生し耳鳴りによる不快感を軽減させるものである。

【使用方法等】

(詳細は取扱説明書を参照すること)
1. 補聴器の電源を入れる。
2. 補聴器を装用する。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

(1)幼児などの手の届かないところに保管してください。補聴器や電池を飲み込むと危険です。

(2)大きな音で聞き続けないでください。さらに聞こえを悪くすることがあります。また、補聴器からピーピー音が発生するハウリング状態で使用し続けると、聞こえを悪くすることがあります。

(3)他人に補聴器を貸さないでください。他人の耳を傷めることがあります。

(4)補聴器を使用する前、あるいは使用中に次の症状がある場合には、使用を中止して耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。

- 耳漏が生じたとき。
- 耳鳴り治療以外の耳の治療が必要になったとき。
- 耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
- 耳の皮膚が赤くなったり、かゆみ、湿疹が生じたとき。
- 使用すると頭痛や疲れが生じるとき。
- 補聴器の外観、音質、音量等に異常を感じたとき。
- めまいが生じたとき。

(5)治療や検査の種類により補聴器に悪影響を与える場合があります(CTなどX線を使用する診断、マイクロ波治療器など電磁波を利用する機器、放射線による治療など)。医師に補聴器を外すかどうかお尋ねください。

(6)耳せん(ドームなど)を使う場合には、外れて耳の中に残るおそれがあるため、正しく取り付けてください。

＜相互作用＞

(他の医薬品・医療機器との併用に関すること)

[併用禁忌]

医薬品/医療機器の名称	核磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)
臨床症状・措置方法	補聴器を検査室に持ち込まないでください。
機序・危険因子	誘導起電力による局部的な発熱で火傷のおそれがあります。また、磁気により本製品がMRI装置に吸着されたり、故障する可能性があります。

＜不具合・有害事象＞

(重大な有害事象)

かゆみやかぶれ(体質によって、かゆみ・かぶれを生じる場合があります。皮膚に異常を感じたときは使用を中止し、専門医に相談してください。)

＜その他の注意＞

(1)固い床の上など、落とすと壊れやすい場所で補聴器のつけ外しをしないでください。

(2)内部を針など尖ったものでつつかないでください。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

直射日光が当たる場所や高温・多湿の場所は避け、室温で保存すること。

＜耐用期間＞

本体：5年　[自己認証(当社データ)による]

※適正な使用環境と維持管理の基に、適切な取扱いで本来の用途に使用され　た場合、設計仕様書に記された機能および性能を維持し、使用することができ　る標準的な使用期間を意味する。

【保守・点検に係る事項】

＜使用者による保守点検事項＞

取扱説明書に従って、指定の電池を使用してください。使用後は、補聴器のお手入れをしてください。

保守部品の保管期間：製造打ち切り後5年

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

＜製造販売業者＞

シバントス株式会社　電話番号: 0800-888-0303

＜製造業者＞

Sivantos GmbH　(ドイツ)

このたびは Ace primax をお買い求め頂き、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

ご使用前に

■補聴器の使用、性能についての注意事項

- 補聴器は聴力低下を補う医療機器です。他の目的には使用しないでください。
- 補聴器は聞こえに合わせた調整をおこなう必要があります。必ずご自分にあった聞こえに調整してください。調整には専門の知識を必要としますので、補聴器の調整はお買い求めの販売店にご依頼ください。なお、この補聴器は、補聴器販売店の店頭における購入および当該販売店（または当該販売店の正式な委託を受けて補聴器の調整をおこなう者）による使用前の適切な調整を前提に製造・出荷されております。従って、通信販売などで本品を購入され、かつ適切な調整をおこなわずに本品を使用したことに起因してお客様に生じたいかなる事故もしくは被害も、当社は賠償・保証いたしかねますので、ご了承ください。
- 補聴器は小さすぎる声、遠くの声、周囲の雑音が大きいときなどは十分に聞き取る効果が発揮できないことがあります。
- 補聴器を使用しても聞こえが悪くなる前と同じ聞こえに戻るものではありません。また、聞こえには個人差があります。
- 耳鼻咽喉科医師の受診を勧められたときは、ぜひ受診しましょう。
- 聴力の変化に伴い、補聴器の再調整が必要になる場合がございます。年に一度は聴力測定を受けることをお勧めします。
- サウンドジェネレーター機能の使用には医師の処方が必要です。ご使用の際には必ず医師の指示に従ってください。

※ この取扱説明書の内容は2018年4月のものです。製品の仕様、付属品、外観などは予告なく変更される場合があります。

※ 本文中のイラストは、実際の製品と異なる場合がございます。

目　次

ご使用前に…… 4ページ

安全上のご注意（必ずお守りください。）…… 6ページ

防水性能について …… 12ページ

付属品の確認 …… 14ページ

各部の名称 …… 16ページ

モールド、ドームの取扱い …… 18ページ

電池の取扱い …… 22ページ

装用の仕方 …… 24ページ

操作の仕方 …… 28ページ

アクセサリ …… 33ページ

補聴器慣れるためのアドバイス …… 34ページ

故障かなと思われたときは …… 35ページ

お手入れの仕方 …… 36ページ

補聴器の設定 …… 38ページ

技術資料 …… 43ページ

アフターサービスについて …… 44ページ

安全上のご注意(必ずお守りください。)

お使いになる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明します。

⚠ 警告： この表示がある項目は、「人が死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意： この表示がある項目は、「人が傷害を負う可能性または物的損傷が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠ 禁止： この表示がある項目はしてはいけない「禁止」の内容です。

■より快適なご使用のための方法を説明しています。

ⓘ よりよく補聴器を使用するためのアドバイスとヒントです。

☐ 形式やオプションによって異なる機能を示します。
☑ お買い求めの販売店に、該当する機能にチェックを付けるようにご依頼ください。

⚠ 警告

■補聴器や空気電池は飲み込むと窒息の危険を伴います。

- 小さな子供やペットが触れるところに置かないでください。
- 小さな子供やお年寄りが使う場合は、誤って補聴器などを飲み込まないよう、周囲の人が常に注意してください。

■誤って空気電池を飲み込んでしまった場合は、慌てずにすぐ医師、救急医療センターなどの診察を受けてください。

- 空気電池が消化管に接触し電流が流れると、短時間でも消化管の壁に損傷が起こる恐れがあります。電流が流れ続けると潰瘍ができたり、穴が開いたりする恐れがあります。
- 胃内で空気電池が留まると空気電池の金属皮膜が腐食し、電解液が流出して消化管の壁を損傷する恐れがあります。

■空気電池から漏れた電解液が目に入った場合、失明など障害の恐れがあります。こすらずに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師、救急医療センターなどの診察を受けてください。

⃠ 禁止

■補聴器はご使用になる方に合わせた専用の調整がされていますので、自分の補聴器を他人に聞かせたり、他人の補聴器を聞いたりしないでください。正しく調整されていない補聴器は効果がないばかりか、耳を傷める恐れがあります。

⃠ 禁止

■下記の項目に該当する場合は、補聴器を使用する前に耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。

- 耳を治療中のとき。
- 耳の中に痛みがあるとき。
- 先天的または外傷による明らかな耳の変形があるとき。
- 過去90日以内に耳漏を生じた経験があるとき。
- 過去90日以内に急激または急速な難聴の進行を生じた経験があるとき。
- 急性、または慢性のめまいがあるとき。
- 耳垢、または異物の集積が明らかなとき。

■病院などで治療や検査を受けるときは…

- 治療や検査の種類により補聴器に悪影響を与える場合があります。係りの人に補聴器をはずすかどうかお尋ねください。
- X線が照射されている場所や0.1T以上の強い磁場では、補聴器をはずしてください。
- MRI検査のときは補聴器を検査室に持ち込まないでください。事故や故障の原因になります。

■補聴器による聴力低下を防ぐため次のことをお守りください。

- 大きすぎる音を出さないでください。
- 喧しいところでは音量を控えめにするか、長時間使用しないようにしてください。

■補聴器は防水ではありません。水などに故意に濡らさないでください。

■補聴器を分解したり、ご自分で修理や改造などをしたりしないでください。

⚠ 注意

■下記の項目に該当する場合は、補聴器の使用をすぐに中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けるか、販売店にご相談ください。

- 耳漏が生じたとき。
- 耳の治療が必要になったとき。
- 耳鳴りが生じたとき。
- 耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
- 耳の皮膚が赤くなったり、痛み、痒み、湿疹が生じたりしたとき。
- 使用すると頭痛や疲れが生じたとき。
- 補聴器の外観、音質、音量などに異常を感じたとき。

■空気電池は使い方を誤ると液漏れや発熱、破裂により、けがや補聴器の故障の原因になります。次のことをお守りください。

- 充電しない。
- 分解したり、ショートさせたりしない。
- 加熱したり、火中に投入したりしない。
- 水などに濡らさない。
- 投げつけたり、強い衝撃を与えたりしない。
- 極性（＋とーの向き）を間違えない。

■空気電池から漏れた電解液が皮膚や衣服に付着した場合、皮膚に障害を起こす恐れがあります。すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

■引火性の強い場所や爆発の危険のあるところでは、補聴器を使用しないでください。

⚠ 注意

■取扱いはていねいに

- 補聴器は精密機械です。落としたり、ぶつけたりしないでください。
- 汗、皮脂、耳垢などが補聴器内部に入ると、音が途切れたり、雑音が発生したり、故障する恐れがあります。ご使用の際は汗などが入り込まないよう注意してください。また、ご使用後は必ずお手入れをしてください。
- 化粧、香水、ヘアスプレー、整髪料などを使用するときは必ず取りはずしてください。
- シンナー、ベンジンなどで拭かないでください。
- 補聴器を電子レンジの中に入れないでください。
- 補聴器とミニレシーバの接続部を引っ張らないでください。

■補聴器は高温や湿気をきらいます。

- 直射日光の当たる場所やストーブの近くなどには置かないでください。
- お風呂やシャワーに入るときは補聴器を必ずはずしてください。
- 台所や浴室、洗面所など湿気のあるところに放置しないでください。
- 雨に濡らさないでください。

■もし、水中に落としてしまったり、衣服といっしょに洗濯してしまったりしたら・・・・

- 水中に落としたときは、空気電池を出してよく水を切り、陰干しして修理に出してください。修理に出すときはその旨を説明してください。
- 洗濯機に入れたり、海水や汚水に落としたりしたときは、空気電池を出して真水で洗った後、よく水を切り陰干しして修理に出してください。修理に出すときはその旨を説明してください。
- 雨や汗で濡れたときは乾いた布ですぐに拭き取り、空気電池を出して、乾燥ケースで乾燥させてください。

⚠ 注意

■電磁波が発生するところについて

- ラジオ・テレビの放送所、タクシー無線の近くや、すぐ近くで電子レンジ・IHクッキングヒーター、超音波洗浄機・超音波センサーなどを使用しているところだと、放送が聞こえたり、雑音が入ったりすることがあります。補聴器の故障ではありません。補聴器をとりはずすか、その場所から離れてください。

■指向性について

- 補聴器を指向性モードで使用すると、主に後方からの音を抑えます。そのため後方から近づく車両の音やクラクションなどが聞こえにくくなることがあります。

■携帯電話について

- 携帯電話を使用するときは、使用する携帯電話によっては補聴器に雑音が入ることがあります。その場合、携帯電話は使用しないようにお願いします。

■補聴器や電池がご不要になった場合

- ご不要になった補聴器およびその付属品は、自治体指定の方法で処分してください。
- 使用済みの電池は、自治体指定の方法で処分するか、お近くのボタン電池回収協力店へお持ちください。

■補聴器を使用しないときは、空気電池を補聴器から出して保管してください。

- 空気電池を補聴器に入れたままにすると空気電池が液漏れや膨張をおこし、故障の原因になることがあります。
- 万一電池が破損し、電解液に触れたときはすぐに洗ってください。

防水性能について

Ace primaxの防塵防水保護等級はIP67です。
これは「粉塵が中に入らない」「一時的に一定水圧の条件に水没しても影響がない（1m、30分）」ことを意味します。
完全防水とは異なるので次の注意が必要です。

■保護等級に関わらず補聴器を液体に浸したり、洗ったりすることを推奨いたしません。

■Ace primax は、液体や湿気の多い状態にさらされることを前提として設計されてはおりません。

■完全防水（メンテナンスフリー）ではありません。

- 浸水状態や高温、低温、多湿の場所に放置しないでください。また使用しないでください。（お風呂・温泉、サウナ・ミストサウナ、スキー、岩盤浴、消防・調理・環境試験業務、ドライヤーで乾燥、冷蔵庫の中、コンロ・ストーブの脇など）
- 洗濯機、超音波洗浄機、薬剤（石鹸、洗剤など）で洗わないでください。
- 防水性能は紫外線や摩擦、薬剤等で経年劣化します。
- 化学薬品やその他の液体は付着させないでください。（日焼け止めローション、シェーブローション、整髪料、ヘアスプレー、育毛剤、化粧水、香水など）
- 砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。マイクや音の出口などに砂が入り、音が小さくなったり歪んだりする原因となる恐れがあります。

- 水に濡れている最中、補聴器に水滴がついているときや手が濡れている状態での電池室の開閉は絶対にしないでください。
- 電池室の内側が濡れている状態では絶対に電池を入れないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒いところから暖かい場所に補聴器を持ち込むときは、補聴器が常温になってから持ち込んでください。万一結露したときは、結露が取れるまで常温で放置してください。
- 落下させたり、強い衝撃を与えたり、マイクや音の出口などを綿棒やとがったものでつつかないでください。防水性能が損なわれる場合があります。
- ケースに劣化、破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、販売店までご連絡ください。
- 補聴器は水に浮きません。
- アクセサリは防水性能を有していません。水に濡れるような場所では、使用しないでください。

付属品の確認

ご使用になる前に、付属品がすべて揃っていることを□に☑をいれて確認してください

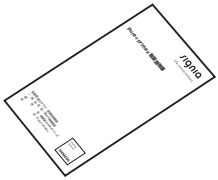
□お試し空気電池【1個】

□マグネット棒【1本】

□クリックドームまたは
クリックスリーブ【1個】※

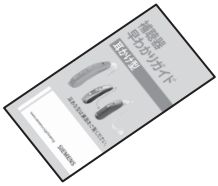
※ご注文時に選択されたタイプ、
サイズになります。
アクセサリで他のサイズもあります。
イラストはクリックドームです。

□取扱説明書【1部】(本書)

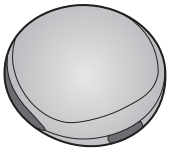
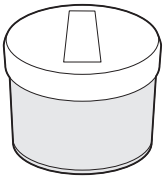


□掃除ブラシ【1本】

□補聴器早わかりガイド【1部】

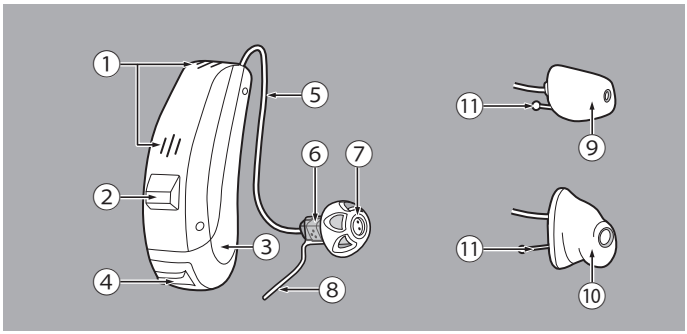


□保証書【1部】

☐化粧ケース【1個】	☐乾燥ケース【1個】
 ご注文時の形式により 形状が異なります。	

付属品は商品の仕様変更などに伴いイラストと異なる場合がございます。

各部の名称

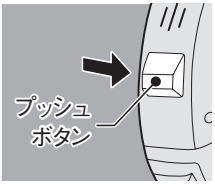


① 音の入口　② プッシュボタン（17、28、30ページ参照）
③ ケース　④ 電池室（22 ページ参照）
⑤ 導線チューブ　⑥ レシーバ（外装イヤホン）
⑦ クリックドーム / クリックスリーブ
⑧ ストッパー（コンチャロック）
⑨ クリックモールド（別売）※
⑩ HP モールド（ミニレシーバ HP 専用）※
⑪ テグス

⑤⑥をまとめて「ミニレシーバ」と呼びます。
⑦のイラストはクリックドームです。
※形状や大きさは、耳の形状により異なります。

■プッシュボタンの動作

プッシュボタンは、選択した機能によってボタンの操作が異なります。
選択した機能を下記の表に記入してください。
（☐にチェックを☑入れてください）



機　能	左補聴器		右補聴器	
	☞1	☞1 3	☞1	☞1 3
プログラムの選択	☐		☐	
スリープモード		☐		☐

●プッシュボタンの操作方法

☞1	プッシュボタンを押してください。
☞1 3	プッシュボタンを3秒間押してください。

モールド、ドームの取扱い

■HPモールドの取付け/取外し方法（ミニレシーバHP専用）

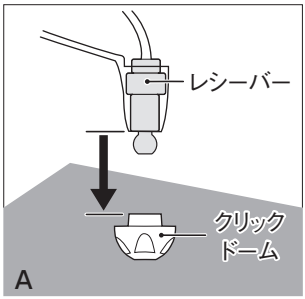
ミニレシーバHPは、HPモールドと一体になっております。分離することはできません。

■クリックモールドの取付け/取外し方法

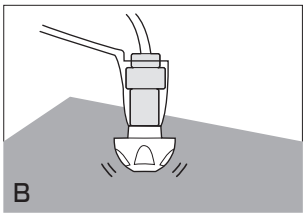
お買い求めの販売店にご依頼ください。

■クリックドームの取付け方法

① クリックドームを逆さまに机の上に置き上からレシーバーをはめます。（図A）



② パチッとはまって完了です。（図B）

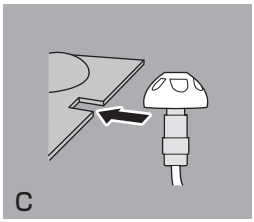


⚠注 意

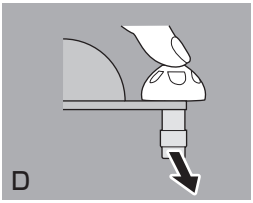
クリックドームは、レシーバの先端（ボール部）に完全にはめてください。

■クリックドームの取外し方法

① 交換用クリックドームパッケージ（別売）下部の切り欠き（青い矢印の所）にレシーバ先端をはめます。（図C）


C

② クリックドームからレシーバーを引き抜きます。（図D）

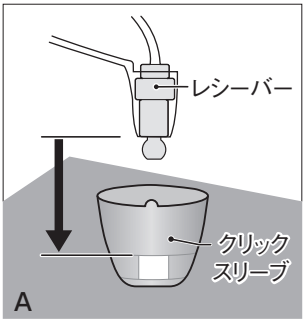

D

⚠注 意

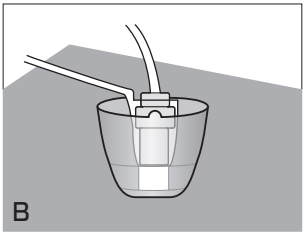
取外したクリックドームは、再使用しないでください。耳の中でクリックドームが外れる危険があります。
取付け/取外しが難しい場合は、お買い求めの販売店にご依頼ください。

■クリックスリーブの取付け方法

① クリックスリーブを逆さまに机の上に置き上からレシーバーをはめます。(図A)



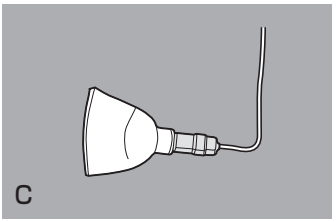
② パチッとはまって完了です。(図B)



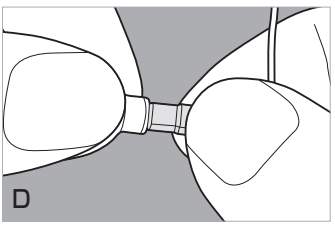
> ⚠ **注 意**
>
> クリックスリーブは、レシーバの先端(ボール部)に完全にはめてください。

■クリックスリーブの取外し方法

① クリックスリーブを裏返しにします。(図C)



② レシーバ部分を押さえてクリックスリーブをレシーバから引き抜きます。(図D)



⚠注 意

クリックスリーブを取外す際は、必ずレシーバ部分を押さえてください。導線チューブなどを押さえてクリックスリーブを取外そうとするとミニレシーバが破損する恐れがあります。

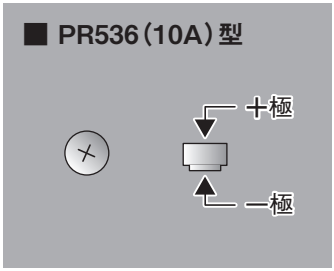
⚠注 意

取外したクリックスリーブは、再使用しないでください。耳の中でクリックスリーブが外れる恐れがあります。
取付け/取外しが難しい場合は、お買い求めの販売店にご依頼ください。

電池の取扱い

■電池は、補聴器用空気電池PR536（10A）型をご使用ください。

※補聴器用空気電池は、乾電池と＋－が逆で、出っ張りが－、平らが＋です。

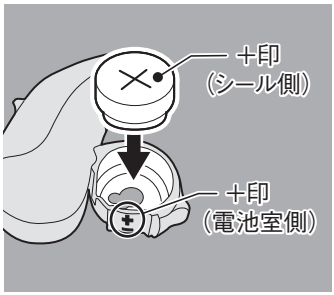


■空気電池の入れ方

① 補聴器の電池室を開きます。

② 空気電池の“＋”と“－”の向きを確認します。

③ 補聴器の電池室と空気電池の“＋”表示が一致するように入れます。



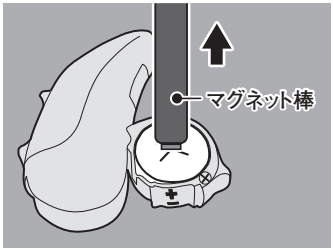
⚠注 意

- 電池を逆向きに入れないでください。
- 電池がうまく入らない場合は、無理に入れようとしないで電池の“＋”“－”の向きとサイズを確認してください。
- 電池を無理に入れてしまうと補聴器が壊れたり、電池室が開かなくなったり、電池が液漏れや膨張をおこしたりして、故障の原因になることがあります。

■空気電池の取出し方

① 補聴器の電池室を開きます。

② 空気電池を取り出します。
マグネット棒で引っ張り出してください。



■空気電池について

- 補聴器用の空気電池を使用してください。
- 空気電池は、電池シールをはがしてから約1分後に使用可能になります。
- 空気電池は、使用するときに電池シールをはがしてください。一度、電池シールをはがすと、使用していなくても電池寿命は短くなります。
- 常に予備の空気電池を携帯しましょう。
- 補聴器を使用しないときは、空気電池を補聴器から出して保管してください。入れたままにすると空気電池が液漏れや膨張をおこし、故障の原因になることがあります。
- 空気電池の寿命は、補聴器の設定や使用する電池の種類、周囲の環境（低温・乾燥・多湿・二酸化炭素量）によって変わります。
- 冬場など空気電池が冷えてしまった場合は、人肌で暖めてからご使用ください。
- 空気電池は乾燥ケースの中に入れないでください。補聴器を乾燥ケースに入れるときは、空気電池を補聴器から取出してください。
- 使用済みの電池は、自治体指定の方法で処分するか、お近くのボタン電池回収協力店へお持ちください。

装用の仕方

■装用前に

補聴器は、左右のそれぞれの聴力に合わせて調整されています。
補聴器を装用する際は、左右を確認して装用してください。

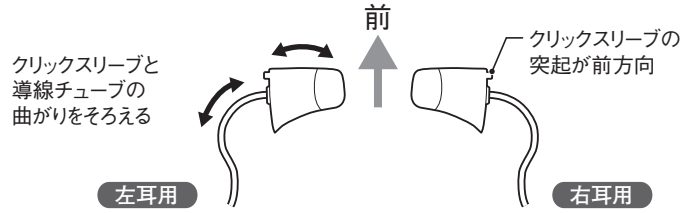
- 赤＝右耳用補聴器
- 青＝左耳用補聴器

■クリックスリーブの場合

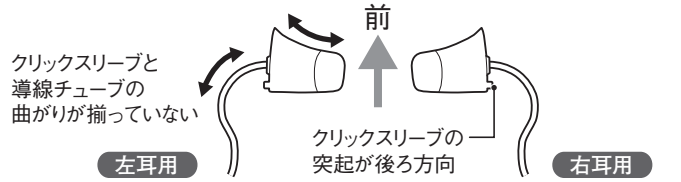
クリックスリーブは耳に入れる前にクリックスリーブとレシーバの方向を確認する必要があります。

クリックスリーブは、補聴器を装用したときにクリックスリーブの突起が前の方に向きます。正しく取り付けると下図のようにクリックスリーブの曲がりが導線チューブの曲がりに沿うようになります。

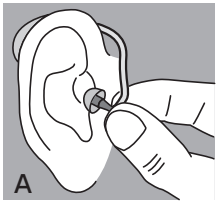
【正しい位置】



【誤った位置】

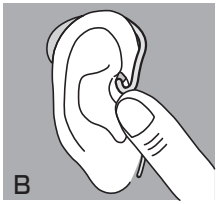


■補聴器のつけ方

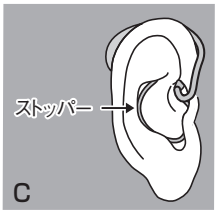


① クリックドーム、クリックスリーブ、クリックドーム、クリックモールドがゆるんでいないことを確認します

② 補聴器を耳にかけます。



③ 図Aのようにミニレシーバーを人差し指と親指でつかみ外耳道に挿入します。耳を後上方に引くと入れやすくなります。



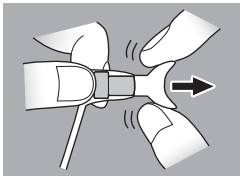
④ ミニレシーバのチューブの曲がり部分が耳と接するぐらいまで図Bを参考に人差し指で押し込んでください。

⑤ 図Cのようにストッパーを耳のくぼみに這わせてください。

※ 耳の形状によりストッパーが耳のくぼみに入らない場合があります。その場合は、ミニレシーバからストッパーを取外してご使用ください。

⚠注 意

- ミニレシーバには必ずクリックドーム/クリックスリーブまたはクリックモールドを使用してください。
- クリックドーム、クリックスリーブは消耗品です。汚れ、変色、損傷した場合は新しいものに交換してください。また、使用状況にもよりますが3ヶ月を目安に交換してください。劣化した部品を使用すると耳の中に残ってしまい危険です。
- 補聴器の装用前に必ずクリックドーム、クリックスリーブを指でかるくしごいて簡単に外れないことを確認してください。（右図）



- レシーバにクリックドーム、クリックスリーブ、クリックモールドを取り付けずに耳の中に入れないでください。
- レシーバを外耳道の奥深くまで無理に入れることは避けてください。
- 他人のクリックドーム、クリックスリーブ、クリックモールドは使用しないでください。
- クリックドーム、クリックスリーブが耳の穴に合わない場合やハウリング音（ピーピー音）が起きる場合は、別売のクリックモールド（特注耳せん）の使用をお勧めします。詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

⚠注 意

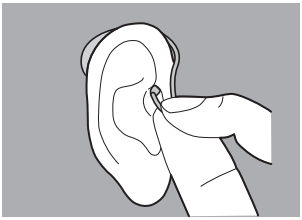
クリックドーム、クリックスリーブの材質は、シリコン樹脂を使用しています。万一、耳の穴の中にクリックドーム、クリックスリーブが残ってしまった場合、耳の穴の奥深く押し込まないように注意して、耳鼻咽喉科医師または販売店にご相談ください。

■補聴器の外し方

① 曲がりの部分をつまみます。

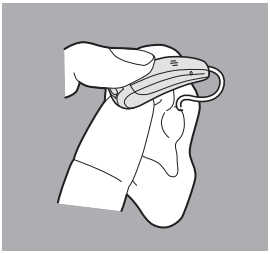
② ミニレシーバをゆっくり外耳道から取出します。

③ 補聴器を耳から外します。



⚠注 意

補聴器を引っ張ってミニレシーバを外耳道から抜き出さないでください。
無理に抜き出すと外耳道を傷つけたり、補聴器やミニレシーバを破損したりする可能性があります。



操作の仕方

■電源の入れ方と切り方

（ご使用の機能に ☑ チェックを入れてください）

ⓘ 補聴器の電源が入るとメロディーが流れてお知らせします。

☐ 電池室を利用して

電源を入れる： 空気電池を入れ電池室を完全に閉じます。

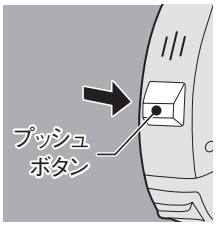
電源を切る： 電池室を十分に開きます。

- 電池室を開閉するときは、開けた後3秒以上経ってから閉めてください。

☐ プッシュボタンを利用して

電源を入れる： 補聴器がスリープモードのときボタンを長押し（3秒）してください。

電源を切る： ボタンを長押し（3秒）してください。補聴器がスリープモードになります。



- スリープモードとは、補聴器から音を出力させない待機状態のことです。そのため微弱電流を消費します。
- スリープモードの設定は、有効/無効を選ぶことができます。
- スリープモードが設定・解除されるとお知らせ音でお知らせします。（電源が入る際のメロディーとは異なります）。

スリープモードの設定はお買い求めの販売店にご依頼ください。

□ リモコン（別売）を利用して

リモコンの取扱説明書をご覧ください。

■プログラム（聞こえ）の選択

（ご使用の機能に☑チェックを入れてください）

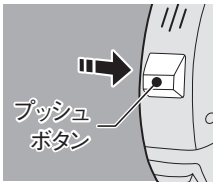
補聴器には、聞こえの設定を最大6つ保存することができ、聞こえの状況や周囲の環境に合わせて設定を変更することができます。
補聴器の電源を入れると、常にプログラム1が呼び出されます。

ⓘ
- プログラムの設定は、ご要望に合わせて調整できます。
- 【プログラムの選択】機能を無効にすることもできます。
- プログラムを切り換えたとき、お知らせ音でお知らせできます。

お買い求めの販売店にて変更することができます。

□ プッシュボタンを利用して

ボタンを押すと設定されたプログラムが順番（1→2→3→・・・・・・→1）に切り換わります。



ⓘ スリープモードを有効にしていると、ボタンの長押し（3秒）で補聴器はスリープ状態になり音が出なくなります。再度長押しするか電源を入れなおすとスリープ状態が解除され音が出ます。

□ リモコン（別売）を利用して

リモコンの取扱説明書をご覧ください。

■音量の調節（ご使用の機能にチェック☑を入れてください）

この補聴器の音量はお客様の聴力に適した音量に自動的に調節されます。

☐ 自動調節

補聴器の音量は自動的に調節されます。

> ⚠ 注 意
>
> 音が大きすぎる、小さすぎると感じるときは再調節が必要です。お買い求めの販売店にご依頼ください。

☐ リモコン（別売）を利用して

リモコンの取扱説明書をご覧ください。

■電源の遅延動作について

- 補聴器の電源を入れてから時間（6秒、12秒、18秒）をおいて、音を出すことができます。
- この機能を使用すればハウリング音（ピーピー音）を聞くことなく補聴器を耳に入れることができます。

ⓘ
- 電源ONのお知らせ音は、補聴器の電源を入れたときにメロディが流れ、設定時間を経過してから周囲の音が聞こえます。
- 電源の遅延動作の設定は無効にすることもできます。遅延動作の設定は、お買い求めの販売店にご依頼ください。

■空気電池が消耗したとき

- 空気電池が消耗すると音が段階的に小さくなります。このときは新しい空気電池に交換してください。
- 一旦電池室を開けて閉めると、再び聞こえることがありますが、長くはご使用になれません。
- 古い空気電池を入れたままにすると、空気電池の液漏れや膨張をおこすことがありますので、必ず取出してください。

ⓘ 空気電池が消耗したときにお知らせ音でお知らせすることができます。お買い求めの販売店にご依頼ください。

⚠ **注 意**

補聴器の調節によっては、お知らせ音が十分に聞こえない場合があります。

アクセサリ

■リモコン（別売）

□ miniPocket

補聴器のプログラムの選択、音量の調節を手元でおこなうことができます。
詳しい情報と操作方法は、お買い求めの販売店に相談するか、リモコンの取扱説明書をご確認ください。

miniPocket

ⓘ 他の人のリモコンで補聴器の設定が変わってしまう場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

補聴器に慣れるためのアドバイス

補聴器に慣れる必要があります。いろんな場所で聞いてみましょう。

- [ ] 静かな部屋を使用して、補聴器をつけることと音に慣れてください。新聞や本などを声を出して読んで、自分の声に違和感がなくなるまで、自分の声を聴く練習をします。

- [ ] 静かな部屋で1人の身近な人と話をする練習をします。

- [ ] 4～5人の人たちの会話を聞き、どの人が話をしているのか聞き分ける練習をします。

- [ ] 単に聞くだけではなく“聞こう”とする意欲が大切です。

- [ ] 戸外で、いろいろな音を聞いて、何の音が聞こえるか練習します。

補聴器は初回の調整だけでは完成しません。
気になる点があれば、お買い求めの販売店に相談しましょう。

故障かなと思われたときは

補聴器の聞こえ方が悪くなったときは、次の要領でお調べください。

1 補聴器が汗や水分に濡れましたか?

はい → 空気電池を取出した補聴器を乾燥ケースに入れて乾燥させてください。(36ページ参照)

いいえ ↓

2 空気電池が消耗していませんか?

はい → 空気電池を交換してください。(22・23ページ参照)

いいえ ↓

3 クリックドーム、クリックスリーブが汚れていませんか?

はい → 交換もしくは掃除してください。(18・19・20・21・37ページ参照)

いいえ ↓

4 クリックドーム、クリックスリーブが正しく耳に入っていますか?

いいえ → 正しく耳に入れ直してください。(24・25ページ参照)

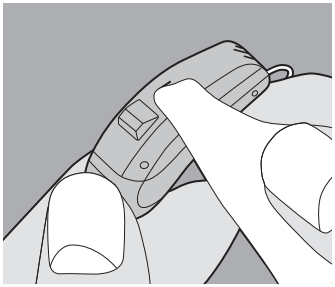
はい ↓

お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

お手入れの仕方

- 補聴器は常に清潔にしておいてください。

- 補聴器のお手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。汚れがひどいときは、真水を湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、乾拭きしてください。



- 補聴器のご使用後は、補聴器を乾いた布で拭いたあと、空気電池を出して電池室を開けたまま乾燥ケースの中で乾燥させてください。空気電池も汗を拭き取ってください。（特に梅雨、夏場は水分や汗が補聴器の中に入りやすくなります。）

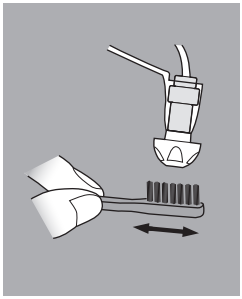
補聴器を乾燥ケースの中にいれたら、蓋をしっかりと閉めてください。蓋が閉まっていないと乾燥効果を十分に得られません。
※空気電池は乾燥ケースの中に、決して入れないでください。

ⓘ 乾燥剤の色が白く変わっている場合、乾燥効果を十分に得られません。
その場合、新しい詰め替え用に交換してください。
湿気の状況にもよりますが乾燥剤は3ヶ月を目安に交換してください。（梅雨、夏季は1ヶ月が目安です。）

- クリックドーム、クリックスリーブ、クリックモールド（別売）は常に清潔に保ちましょう。クリックモールドのクリーニングにはクリーニングシート/クリーニングタブレット（別売）をご使用になるとたいへん便利です。
- 毎日ご使用後、汚れをクリーニングするようお勧めします。

■掃除の仕方

付属しているブラシをお使いください。
耳垢が中に入らないようにブラシを上向き、レシーバを下向きにして掃除します。
クリックドーム、クリックスリーブをご使用の場合は、掃除が終わったら必ずクリックドーム、クリックスリーブの取付けを確認してください。
もし緩んでいたら取外して、新品に交換してください。



図はクリックドームです

⚠注 意

クリックドーム、クリックスリーブは消耗品です。取外したクリックドーム、クリックスリーブは決して再利用しないで捨ててください。

補聴器の設定

お買い求めの販売店で、補聴器の仕様や補聴器に設定されているプログラムを下記の表に記入してもらってください。
（□にチェックを☑入れてください）
イヤチップなどのご購入の際や環境プログラムをどのようなときに選択すればよいのかを判断するのにご利用ください。

補聴器	
形　式	■ Ace primax
クラス	□ 7px □ 5px □ 3px □ 2px □ 1px
空気電池	■ PR536（10A）型
電源の遅延機能	□ 18秒 □ 12秒 □ 6秒 □ 無効
プログラム切り換え	□ 有効 □ 無効
スリープモード	□ 有効 □ 無効

お知らせ音	
音の種類	□ メロディ □ 信号音
環境プログラムの切り替え	□ 有効 □ 無効
音量調節の操作	□ 有効 □ 無効
音量調節の限界	□ 有効 □ 無効
音量調節の開始位置	□ 有効 □ 無効
電池容量の警告	□ 有効 □ 無効

環境プログラム（聞こえの）設定	
プログラム番号	プログラム内容・使用環境
1	
2	
3	
4	
5※1	
6※1	

これら設定の変更は、お買い求めの販売店にご相談ください。
※1 7px、5px、3pxのみ

リモコン	
形　式	☐ miniPocket

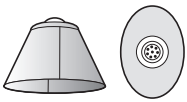
■お買い求めの販売店に、ご使用中のドームにチェックを入れてもらってください。（☐にチェック☑を入れてください）

オーダー耳せん	
☐ クリックモールド※	☐ HPモールド※

※形状や大きさは、耳の形状により異なります。

クリックスリーブ	
☐ クリックスリーブ **XS**（穴あり Vented） 4+10mm	☐ クリックスリーブ **S**（穴あり Vented） 7+12mm
☐ クリックスリーブ **XS**（穴なし Closed） 4+10mm	☐ クリックスリーブ **S**（穴なし Closed） 7+12mm

クリックスリーブ	
☐ クリックスリーブ **M**（穴あり Vented） 9+14mm	☐ クリックスリーブ **L**（穴あり Vented） 11+16mm
☐ クリックスリーブ M（穴なし Closed） 9+14mm	☐ クリックスリーブ L（穴なし Closed） 11+16mm

クリックドーム		
☐ クリックドーム 4mm（オープン）	☐ クリックドーム 8mm（オープン）	☐ クリックドーム 10mm（オープン）
☐ クリックドーム 6mm（クローズ）	☐ クリックドーム 8mm（クローズ）	☐ クリックドーム 10mm（クローズ）
☐ クリックダブル ドーム 8+10mm	☐ クリックダブル ドーム 10+12mm	☐ チューリップ ドーム 8+12mm
		

技術資料

■保管と輸送について

長期間の保管や輸送をする際は下記の環境を保ってください。保管する際は、補聴器のクリーニングをして、よく乾燥させてから保管してください。

保管条件	温度： 10～40℃　湿度：10～80%RH
輸送条件	温度：-20～60℃　湿度： 5～90%RH

電池の保管・輸送条件は異なります。電池と一緒に長期間の保管・輸送をしないでください。

■性能・音響特性について

ワールドワイド（グローバル）WebサイトのData Sheetをご確認ください。

アフターサービスについて

- **保証書（別に添付してあります。）**
  保証書には必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、大切に保管してください。

- **保証期間中、修理依頼されるとき**
  恐れ入りますが、保証書を添えてお求めの販売店へお持ちください。
  保証書の記載内容に従って、修理いたします。保証書の提示がないときは有料修理になります。
  HPモールド、クリックモールドの再作保証は製造日より120日です。

- **保証期間経過後の修理について**
  お求めの販売店または弊社にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

- **部品の保有期間**
  この補聴器の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。

- **その他のお問い合わせは・・・・・**
  アフターサービスなどについてご不明な点は、お求めの販売店までお問合せください。

製造販売業者：シバントス株式会社
住　所：〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間1623-14
三機大和ビル 6F
TEL 0800-888-0303　FAX 0800-888-4133
※フリーコールにつながらない場合は、下記番号まで
お問合せください。
TEL 046-289-0303　FAX 046-407-1133
Sivantos GmbH
Henri-Dunant-Strasse 100 91058 Erlangen Germany
Manufactured by Sivantos GmbH under Trademark License of Siemens AG

10537787
キ -10537787 / Rev.B 2018.4